

- 診療時間の中では、短い診療で充分訴えをくみ取ってあげられない。時間をかけて診療してあげられなかった。 (小児・内科)
- 外来診察の時間制約上、十分な対応ができない。 (泌尿器科)

#### 患者の情報不足に関する回答

- 障害の診断（病名）が不明な例が多い。その障害にどのような治療を行っているか不明。感冒等に罹患したときにどのような治療上の注意が必要か (内・小児科)
- 精神障害、行動障害、及びコミュニケーション障害があり、患者側がある程度の資料を準備して受診してもらいたい（家族への希望）。でないとな十分な情報で判断せねばならず膨大な時間を消費するため。白紙で来院してもらいたくない。事前の情報提供は必須。 (精神・内科)
- 過去の治療歴、介護歴、生活歴がわからないことが多い。 (無記入)
- 経歴、病歴がないと判断の難しいポイントが多い。初対面の時、情報が不十分のことが多い。 (内・胃腸科)
- 本人からの自覚症状の訴えも届かない。知的障害が軽い場合にどの位の理解力なのかの学校での学習歴、文字を読めるかなど。病名が知らされていない。 (内・小児科)
- 感冒の時のみ受診するため、日常の服薬内容等が把握しにくい。またコンタクトを取るのが難しい。 (内科)

#### それほど難しくないと回答

- 保護者の方が付き添って下さいますので比較的スムーズに診察が出来ていると思います。（小児科専門診療所ですので、また完全予約制でありますので待ち時間の短い点も良いのだろうと思っています） (小児科)
- 介助者と一緒のことが多く、又長年慣れた方が多く、問題はない。 (外・内科)
- 当院は整形外科のため外傷を主に来院するため、特に難しさを感じることはありません。 (整形外科)
- 軽症なのと家族同伴のため、特別不自由なことは感じません。 (内・胃腸科)
- 小児期より診療しているので特になし。 (内・小児科)
- 上記疾患の治療という意味か、他の疾患を併発した時か、質問の設定が分かりにくいのですが、後者では母親を通して自覚所見が取りにくい場合、母親次第というところがあります。子供をよく見ている母の場合、それほど難しくは感じません。 (小児・内科)
- いつも家族の方が付き添って来院されるので、特に難しさを感じたことはありません。 (内・外・小児科)

#### その他の回答

- 診断時、家族（自宅）・幼稚園・学校（社会生活）、及び教育研究所等（検査、心理診断）のコーディネートの必須性（協力情報交換）。処遇・治療・訓練の受入れに於ける対応のバラツキ他。 (神経科)
- 当該障害の診察の為、一般患者の診察に弊害が出る。家庭環境を把握するのが難しい。父親の理解を得るのが難。専門医への紹介・地域連携が難し

- い。 (小児科)
- 知能テスト・行動の状態の日常の様子などの観察は日常の診察の上では不十分となりやすい。保健師、福祉士などの活用が望まれる。 (小児科)
  - 本人自身もそうですが、支える家族や学校特に保健の先生の姿勢に大きく左右されるようです。 (小児・内科)

〔Q3〕当該障害の患者さんが貴院を受診した場合、そのときの率直な気持ちは以下のどれに近いですか

【結果】 (別添棒グラフ参照)

一番多かったのは、②の (どんな患者さんでも応召義務があるので何とか対応はするが、できれば他の医療機関に行ってもらいたい) で、204件 (52.3%)。二番目は、④の (その他) で、74件 (19.0%) でしたが、うち、9割近くが、できるだけ応えたい、対応可能範囲内では対応したいという趣旨で、言い換えると、歓迎するとまでは言えないが、きちんと務めを果たしたいというものでした。その次が、①の (当該障害者の受け入れ体制はできているので、歓迎したい気持ち) で、72件 (18.5%)。③の (他の医療機関を紹介することにして、なるべく診療を回避したい) は、37件 (9.5%) でした。したがって、患者側からみると、全体としては9割近くの診療所が、実際に診療に応じてもらえるのではないかと期待をもたれるのではないかと思います。

〔Q3 ④ (その他) の意見〕 (自由記載)

【結果】

74件中73件の回答がありました。そのうち、67件 (91.8%) が対応に肯定的もしくは積極的でした。

対応に肯定的または積極的な回答

- 精神神経科を標榜しているので通常の対応をしたいと考えています。 (神経科)
- 自分の診療科で対応しなければならない疾患であれば最善をつくす (当院で)。 (外・胃腸科)
- できるだけ対応したい。特別受け入れ体制ができているわけではないが。 (皮膚科)
- 長い歴史を共有することになるので、むしろよく分かり合えているという当たり前の気分。 (精・神経科)
- どんな患者でも対応してみます。 (内科)
- できる限りの対応はする。コミュニケーション障害そのものに対する診療は不可能。 (内科)
- できるだけ対応するようにしているが、難しいものは他医療機関へ紹介している。 (内・小児科)
- 状態をみてしかるべき専門機関を紹介する (後ろ向きでない) (内科)

- どちらの病院、診療所に行かれても同じ対応であろうと思うので、なるべく当院での診療を考えている。むしろ大病院で「知的障害に眼鏡は入らない」といわれたという患者さんは当院で眼鏡を作り、「良く見える」と喜ばれている。(眼科)
- 歓迎したいとは思わないが、現体制でできることはきちんと対応。来て欲しくないとは思わない。(小児・内科)
- 受け入れ体制は十分でないが、改善に努力して、できれば受け入れたい。(内科)
- 受け入れ体制はできていないが対応できる自信はある。自分の専門分野内であれば他の患者と同様に診察加療するつもり。(整形外科)
- 特別な体制がどのようなものかわかりませんが、標榜科の診察に関してはいかなる場合も対応したいと思っています。(皮膚科)
- 力不足を感じながらも対応してあげたい気持ちです。(内・消化器科)
- どんな患者さんでも応召義務があるので来院されれば診察します。(小児科)
- 対応できる疾病であれば、可能な限り対処したいが、内容によっては、他施設への依頼を要することもある。しかし、現実にそのような場合に例えば転送を拒むような方があると、当初から受け入れない方がよいということになってしまいうし、転送先が受け入れられない場合の対処方が心配される。(眼科)
- 自院で対処できる方は必ず診察しますが、手に負えない場合は他院へ紹介します。(整形外科)
- この改正を良い機会ととらえ、学ぶ機会を与えて頂きたい。自身が学ぶことによってより積極的な対応をしたい。(内科)
- 自院で出来る範囲の対応を行っている(拒否も歓迎もしない)(内・神経内科)
- 受け入れ体制ができていないわけではありませんが、身内に知的障害者がいるため理解しております。(無記入)
- 十分な能力も体制もないと思っているが、たよりにされていると思うとできるだけのことはやりたいと思う。逆に十分な受け入れ体制とは例えばどんな事でしょうか。(内・小児科)
- 歓迎でも拒否でもなく、一般の患者さんと同じに感じています。(内・外科)
- 歓迎するほどではないが、どういう患者さんでも対応してゆきたいと考えている。(小児科)
- 病を得た人として正常者・認知症・知的障害者等の区別無く接している。(内科)
- 診察時間を多くとれる時間帯に受診して欲しい。(皮膚・小児科)

#### その他のニュアンスの回答

- ご本人及び保護者の方が納得し満足安心できる対応をしたいと思っておりますが、私共の知識や実力不足から十分な対応ができていないのではないかと心配しています。(小児科)
- 眼科の往診制を認めて欲しい。(眼科)
- 騒いだりした場合、他の患者さんに迷惑がかかる。(内科)

- 意志疎通が難しいこともあり、保護者の代弁にて症状を把握し処置加療をするが、不安が残ることがある。(内・小児科)
- 以前宮城県の公立病院に勤務していた事があり、知的障害施設の協力病院であったため、日常的に診察しておりましたが、ご本人の理解度もさることながら付添人の理解度にも温度差があり、非常に大変だったケースもありました。なかなか思い通りにならない反面、意外そうなケースも多々あり、やはりケースバイケースだと思います。大多数は想像よりスムーズなケースでした。(内・小児科)
- 受け入れ体制ができているとは言えません。当方は、精神科・心療内科ですので、診察しますし、相談にも応じますが、小児・児童の専門家ではありません。(精・心療内科)
- 既に外来の混雑が限界に近く、歓迎したいというものではない。しかし、必要な診療は事情が許せば行うつもりでいる。予約や待ち時間について当院の体制に沿うなら対応していく。(精・神経科)
- ほとんどが専門的な医療機関に通院中と思える。(内・小児科)

〔Q3-1〕貴院ではどのような対応をされていますか（自由記載）

この質問は、当該障害者の医療を積極的に行っている施設に関して、具体的な対応をお聞きしたものです。（Q3で①を選択した方のみ）

#### 【結果】

72件中65件の回答がありました。保護者の話を聞く姿勢、親切な態度、時間をかけるなどしてコミュニケーションをとろうという対応が少なくとも29件。他の患者と同様に普通に対応するというのが少なくとも20件。予約・待ち時間の短縮等の対応が少なくとも9件ありました。それ以外には、待つ場所やスタッフの教育に関する回答もありました。

#### 患者・保護者とのコミュニケーションに関する回答

- よくコミュニケーションをとる（本人と介助者と）。アットホームの雰囲気です。他の患者と特別区別しない。(外・内科)
- ごく普通の面談、あるいはジェスチャーを交えたコミュニケーション、保護者の困り毎相談。長い歴史を共有することになるので、むしろよく分かり合えているという当たり前の気分。(精神・神経科)
- 保護者及び付き添いの方との話し合いをていねいに根気強くもつこと。(小児・内科)
- 特別に変わった対応はしていませんが、ゆっくり話す、大きな声で話す、身ぶり手ぶりも加えるなど一般的注意はしています。(内科)
- 特別な対応といえるわけではないが、時間をかける、穏やかな言葉遣いを心がける、付き添いの方にもお話をきくなど。(神経内科)
- 必ず付き添いの方が側にいるようにしていただく。付き添いの方を通じてコミュニケーションを取るようにしている。(眼科)
- あまり事務的な態度にならないように、また、急がせないよう時間をとって対応したり、数回診察に通ってもらい、段階的に慣らしている。家族の

- 協力も得るようにしている（保護者の付添）（耳鼻科）
- 恐怖心とりのぞくため、患者さんがクリニックやスタッフと信頼関係ができるまで時間かけ無理をしない、段階を踏む。本人にわかるよう具体的に視覚に訴えて説明する。（内・外科）
  - なるべく往診で対応。困難な場合のみ来院して頂くようにする。（内科）
  - 患者さんの障害の程度、病状に応じて最も良いと思われる方法で相談の上対応させていただきます。（内・消化器科）
  - どんな患者さんでも応召義務があるので来院されれば診察します。電話でお話をうかがってより来院していただき、その患者さんにとってよいように対応するよう心掛けている。（小児科）
  - 多くの場合、保護者・同伴者がいるので、同席の上、問診に時間を費やしている。常に暮らしている者や接している者ほど適確な情報が得られる。（内・小児科）
  - 自損行為の外傷に限らせてもらっている。外来手術に限り、全員協力して対応している。（内・外科）
  - 特性を考慮しながら意志伝達に時間をかける。（小児科）
  - 小児の場合、本人の希望をなるべく取り入れる。親とのコミュニケーションをよくとる。（小児・内科）
  - 付き添いさんの意見をよく聞く。ケア表を持参してもらおう。（外・内科）

#### 他の患者と同様の普通の対応という回答

- 精神神経科を標榜しているので通常の対応をしたいと考えています。（神経科）
- 基本的には他の患者さんと同様にする。落ち着かない時は臨機応変にて対応する。（内・小児科）
- 受け入れ体制が出来ているかどうかはわかりませんが、受診した場合は他の患者同様に、当院で治療可能な疾患であれば治療を行い、専門的治療が必要であれば病院を紹介しています。（内・消化器科）
- 現在同様の患者さん（施設入居中）が通院されているので同様の対応をする。（内科・胃腸科）
- 通常通りの診療もしくはスタッフを充実させて行う。（事務員を診療サイドにまわすなど）（耳鼻科）
- 特別な対応はしていません。（小児・内科）
- 歓迎することは特にないが、拒否することも全くないです。他の患者さんとほぼ同等の対応をしようとしています。（小児・内科）

#### 予約や待ち時間に関する回答

- 待たないように時間調整とか。発達障害の人をみるのは一応なれていないので。（精神・神経科）
- 予約をしていただく。待つ部屋を別にする（遊べる空間があるところ）（小児科）
- 予約外来（診断：セカンドオピニオンも含めて、対処法、薬剤検討）、場合によっては本人や保護者等へのカウンセリング的対応やプレイ療法。（小児・精神科）
- 待ち時間の短縮、特別室の準備。（内・消化器科）

- 一般患者と時間差を設定できるように考える。 (小児科)
- なるべく待たないように早く診療するようにしている。 (皮膚科)
- 予約をとっていただき診療の流れをスムーズにする。 (精神科)
- 通常診療時間外に予約していただき、検査・診察をしている。 (眼科)
- 歓迎するほどではないが、どういう患者さんでも対応してゆきたいと考えている。電話で予約してから来てもらう。待っているのが困難な人は、車にいてもらって携帯で呼び出すことも。 (小児科)

#### 待つ場所やスタッフ教育、その他の回答

- 患者数は少ないので出来るだけ診療するようにしております。 (内・小児科)
- 興奮時には別スペースにて診察・処置を行う。 (内・外科)
- 待ち時間中にも落ち着いていられない人が多く、一般の人とは別の待合室に案内して待っていてもらう。 (内・小児科)
- 従業員教育を心がけている。 (耳鼻科)
- 家族が望めば車の中で待機していただき、順番がきたら職員が迎えにいきます。ゆっくりした説明を希望されるときは時間を指定させていただいています。 (小児・内科)
- こどもの心の相談医の研修を受けて認定されています。知識習得に努め、スタッフ教育を行おうとしています。 (小児・内科)
- 病を得た人として正常者・認知症・知的障害者等の区別無く接している。もともと知的障害者用の診療所として創られているので、建物の構造、器具の選択と配置、システムの整備そして特に職員の指導を徹底している。 (内科)

#### 〔Q3-2〕 どうしてそう思われますか (自由記載)

この質問は、当該障害者の医療に関してはあまり積極的になれない理由についてお聞きしたものです。(Q3で②または③を選択した方のみ)

#### 【結果】

241 件中 217 件の回答がありました。内容は複雑に絡み合っていて表現も様々ですが、総じて、専門でない、経験がない、自信がない、などの理由によるものが、少なくとも 83 件ありました。受け入れ体制がとれない、設備がない、責任が持てない、などの理由によるものは、少なくとも 40 件ありました。その次は、診療に時間がかかることを懸念するもので、少なくとも 33 件ありました。患者とのコミュニケーションや家族の理解に関するものは、少なくとも 16 件ありました。さらに、できる範囲での診療、または一般的な最小限の治療に限られるという回答が、少なくとも 14 件ありました。その他としては、他の患者への影響などを懸念するものが、少なくとも 10 件ありました。

#### 専門外、経験や自信のなさなどを理由とする回答

- 自己の診療能力不足を認識しているため。 (内・呼吸器科)

- 不勉強で専門的な対応はむずかしい。そちらを勉強している医療機関に紹介してあげています。 (内・小児科)
- 休日や時間外（土曜日の午後は当院は診療していますが、他の医療機関は休診の場合が多い）に二次病院へお願いしようにも薬剤名や病歴聴取で困ることがあります。いつもみてもらっている医療機関から電話でも良いですから情報提供が欲しいです。当院の診療所の総合能力が当該障害の患者さんの治療レベルに達していない。 (外・胃腸科)
- 十分な診療対応できず、患者さんの満足に答えられない。 (眼科)
- 理解できないのに診察することは逆に却って患者のためにならない。 (内・胃腸科)
- 専門のところでないと病気自体のことも勿論、他の病気の事や治療面がわからない。 (産婦人科)
- 慣れていないので問診が適切にできるか自信がない。 (胃腸・外科)
- 治療方針、対応方法などがわからない。 (内・皮膚科)
- 診察経験がないため、そのような患者に多く診察されている施設に受診した方が良い結果になると思われます。 (麻酔科)
- 当該障害に関する医学知識の不足があり、対応に手間取ると思うので。 (内・整形外科)
- 自分の専門分野の診療についても付添者がいて対話が出来ればよいが、むずかしいと思う（胃内視鏡など）。当該障害に対する専門医、専門病院に紹介したい。 (内・胃腸科)
- 医師に十分な知識と経験がない、しかし今後勉強したいと思う。 (循環・胃腸科)
- 当院は耳鼻咽喉科なので、この様な患者さんが来院した場合、処置が困難である。 (耳鼻科)
- 同障害についての知識が乏しい為、対応の方法がわからず、誤診の恐れがあるから。 (産婦・内科)
- 十分な対応ができる知識も、自信も無し。時間的余裕も無い。自ら進んで勉強する気力も無い。 (内科)
- 専門的知識がないので。 (眼科)
- 外来でずっとフォローアップしていく自信がないため。 (整形外科)
- 当該患者の特性について私自身が十分把握できていないため、適切な処置がとれるか自信が持てないため。 (内・外科)
- 治療経験少なく、混雑した外来での診療に限界がある。 (内・呼吸器科)
- やはり専門の施設、経験のある医師に診てもらうのが、患者さんにとって好ましいと思う。 (小児科)

**受け入れ体制や設備が不十分、責任がもてないなどを理由とする回答**

- 医療スタッフの教育ができていない点や、一般外来の中での対応が困難と思われる。特に待合い室等。 (内・外科)
- 受け入れのための十分な体制が整っていないため。 (循・呼・消化器科)
- 検査機器がなく、医療情報が得られないため。 (内・アレルギー科)
- 責任がとれないから。 (内・胃腸科)
- こちらからの質問に答えられないと病気の状態がわからないので誤診する可能性がある。 (内・小児科)

- 当院ではマンパワーがないこと、必要な設備がないこと（必要な検査など）  
（心療内科・精神科）
- 事故が生じた時、責任が負いきれないことが生ずる。  
（内・小児科）
- その人の病状について十分な把握が困難で、責任をもって診察、加療が困難と思われます。  
（内・消化器科）
- 結果責任を問われるのが怖い。  
（内・小児科）
- 十分な体制ができていないため、医療事故につながる可能性もある。  
（内科）
- コミュニケーションのとり方、診察の仕方等の経験がないため医療ミスが心配。  
（消化器・外科）

#### 診療時間に関する回答

- 診察に時間がかかりそう。  
（内・循環器科）
- 一般の患者さんに比べ、診察や処置に時間や人手がかかるため、忙しい時は対応に苦勞することがある。  
（脳外科）
- 当該障害患者の診察・治療の為、特別な時間と日を設けるのが難しい。  
（小児科）
- 急性疾患であふれる外来患者の中で対応に時間をさくのは困難（小児科）
- 一回の診療の人数が予約制にして制限してもめいっばいで時間的余裕がない。  
（婦人科）
- 患者の状態を把握するのに時間がかかる。診察もスムーズに行えない。  
（外・内科）
- 仕事ですから患者さんがいらっしゃったら診察します。時間がかかってイヤですが、来るなどとは言いません。来なくなるまで対応します。仕事です。  
（内・小児科）
- 診察に手間かかる、治療や処置が不十分となってしまう、保険点数は一般人と同じなど。  
（泌尿・皮膚科）
- 再診の場合は時間外に来院してもらおう。他の患者の待ち時間が長くなる。付き添いがいない場合など予約しても時間を守らない。  
（産婦人科）
- 十分な診療時間と対応を要するため、時間的にまた他の患者さんとのプライベートの上で十分な対応をとれない。  
（眼科）
- 診療時間がかかる可能性があり、検査、他の診察に影響が出る。しかし、対応方法を研修できれば問題ない。  
（胃腸科、内科）
- 診察に時間がとられて他の患者の診察時間が少なくなってしまう。  
（内・胃腸科）
- 診察に時間がかかること。保護者の医師に対する不安感、不信感。  
（内科・胃腸科）
- 恒常的に混雑しており特別な対応が困難であるため。  
（整形外科）

#### 患者とのコミュニケーションや家族などの理解に関する回答

- 経験として思い出すと当該患者さんとのコミュニケーションをとることが不慣れでもあり、互いに充分でなかったと感じられることが多かったのだ。  
（内・外科）
- 胃カメラや胃透視や、大腸精査などの検査が必要な場合、本人家族や介助者の行為の理解がないと施行不能である。  
（胃腸科）



- 説明してもわからず、又自分の考えを介護する人にわかってもらえないことが多いため。 (内・整形外科)
- もし仲介者（家族その他）が居なければ意志の交流が不可能な為、充分な対応が出来ないことが心配である。 (内・胃腸科)
- コミュニケーションがとりづらく充分なニーズが聞き出せない場合がある。 (内・皮膚科)
- 医療の内容を理解してもらえないことが多い。（服薬の指示がその通りに実行されているかどうか不安材料が多い） (内科)
- コミュニケーションがとれなかった。病状理解がむずかしく誤診につながるのではという不安があった。 (内・小児科)

#### できる範囲での医療に限定という主旨の回答

- できないものがある。その患者さんの障害の程度により、全てに対応しきれない状況があります（何とかできる範囲ではやりたいと思いますが） (外・胃腸科)
- 急性咽喉炎とか、消化不良症とか障害とは別に罹患したときには、対応できるが、障害と関係ある時には対応できない場合がある。 (内・小児科)
- 精神科クリニックだから覚悟はしている。それなりに困難であるから。簡単だ、内科並みの患者であると言ったらそれは偽りでしょう。普通以上に困難なのですよ・・・。あまりにも異常行動、極端な症状を伴う人にはクリニックより精神病院受診をすすめる。 (精神・内科)
- 風邪などの一般診療は対応可能、しかし、障害に対する対応は困難。 (内・外科)
- 感冒くらいなら保護者から症状を聞き出せるが、腹痛などで来院されたら対応が難しい。 (内・神経内科)
- このような配慮が必要とする方は基本的には「かかりつけ医」が診察する必要があると思っています。一般的に急に忙しくなることがあり、時間的にゆとりが持てないことがあります。 (小児・内科)
- 婦人科疾病以外は診療できません。 (婦人科)
- 数多い外来患者さんの診療が中断してしまうことが多い。しかし、そのような方が来院された時は、待たずに診るようにしている。 (耳鼻科)
- 意思の疎通、診察が十分にできず、採血等諸検査もできないことが多く、また職員の数も限られているため、不本意な診療しかできない。保護者、付添人がいても上記の事情はあまり変わらないこともあり、最低限の治療に限られてしまう。 (内・胃腸科)
- 当院では一般内科としての対応のみにとどめ、当該障害については精神科等の専門家でのフォローを希望する。 (内科)
- 当院のスタッフのみでの対応はほとんど不可能で、付添の方の手をお借りするのを申し訳なく思う。上記④その他など、正確な診断、患者の状態把握ができないのが不安。 (眼科)

#### 他の患者への影響を懸念する回答

- 当方から見れば1人の患者さんの為に、他のサイクルの変更させられたり、他の患者さんに影響することはさけないし、患者さん側から見れば専門医にかかった方がベターだろうから。 (消化・呼吸・循環器科)

- 保護者の方についてもらい、診察の時は補助をお願いしている。看護も1～2人補助についてもらう。混雑時には他の患者に支障があることが想定されるから。幸い今のところトラブルはないが。(内科)
- 待合室で他患者の迷惑をかけて苦情もあるが、穏便に収めている。但し、診る方においては、何ら問題なし。(小児科)
- 他の患者さんがいる関係上、時間を予め決める等他の患者と患者自身の配慮が必要と思います。(皮膚科)
- 常時入院等で観察できていれば、状態の把握は簡単ですが、年に1回とか初診等では時間がかかりすぎて他の患者に迷惑となる。日常そのような体制となっていないため。(小児科)
- 待合室で他の患者さんへのご迷惑や外来回転が遅くなり、待ち時間(その他の患者さん)が長くなる。(無記入)
- 時間がかかることが予想され、他の患者さんにおまちいただく時間が長くなると考えられるから。(内・循環器科)
- 他の患者さんが恐怖心を持って見ることがある。(整形・内科)
- 診療を求めて来られるのであれば対応するが、他の患者さんが不安を抱くようであれば、専門医に相談することも必要だと思う。(内科)
- 他受診者の反応。受診時間の延長。(内科)

#### その他の回答

- 他医療機関に行って欲しいという気持ちではなく、来院した方に対しては親切に対応しているし、又そうしたいと思っています。(耳鼻科)
- 医師として応招義務があるから。(内・外科)
- 歓迎したいという事は病気を歓迎するというふうにとれるので①は選択せず。来院される患者さんには親切に対応するので、他の医療機関に行ってもらいたいとは思わない。自分が診察、問診して紹介状を書く。(内科)
- 何らかのサポートがないまま対応することは困難、たえず接している人からの情報提供等が必要。(内科)
- ②の答は全部当てはまらないが、選択肢が他にないため。(内・小児科)
- 他医に行ってもらいたいとは思わないが、設備とスタッフがそろっているとも思わない。選択肢が他にないので(②)。(内・小児科)

〔Q 4〕 当該障害の患者さんの診療を日常的に行うためには、どのようなことが必要と思いますか(複数回答あり)

#### 【結果】 (別添棒グラフ参照)

多い順に、④の(保護者等の付添) 309件、①の(当該障害に関する医学知識や対応方法などの情報提供) 228件、③の(受診希望患者さんからの事前の情報提供) 178件、②の(専門家等による研修会) 143件、でした。回答者の約8割近くの方が、保護者等の付添が一番重要と考えているようです。

〔Q 4 ⑤(その他)の意見〕 (自由記載)

## 【結果】

36件中33件の回答がありました。そのうち、医療機関・スタッフなどに関するもの、および保護者や介助者に関するものが、それぞれ10件、患者の情報に関するものが7件ありました。

### 医療機関・スタッフ・連携などに関する回答

- 専門的治療教育施設。 (心療内科・小児科)
- 根気と体力のあるスタッフ。 (小児・内科)
- 当該患者さんを充分に受け入れができる医療機関の広報を行い、適切な医療機関への受診を呼びかける。 (内科)
- 入院病院の看護師の介助 (2名以上) (内・外科)
- 当該障害といっても、一言で片付けられる様な問題ではない。障害にも種々多彩だし、個人個人の発達段階害、変化と多様性をもつものだから①②の様な画一的な研修会はこの場合そぐわない気がします。当応する医療機関と親、専門医療機関との連携が必要と思います。 (内・外科)
- 医師の増員。 (内・小児科)
- 受け入れ病院の充実。主治医 (精神科、神経内科の先生等) を決め、それから必要に応じた上記①③④が可能になると考えます。 (整形外科)
- 専門医による診察。 (外・内科)
- ただし、日常的に行うには、ただ医師の知識のみでは無理と思われる。診療が行える施設の設備及びスタッフが必要でしょう。 (小児科)
- 精神科等のバックアップ、情報提供。 (内科)

### 保護者や介助者に関する回答

- 患者さんの保護義務者決定に難かしいことがある。 (心療内科・精神科)
- 日常的に関わっている人からの情報は必須と考えます。診察を受けるという意思表示もしていただきたい。この意思表示が本人又は本人にかわって行う人もなく、しかし診療は行われるという現状があるので。 (精神・心療内科)
- 施設などの入所者の受診の際には、前もってできることならば計画的に相談したりすることで、受診の待ち時間など調整できることもある。一人が具合悪いと、ついでに何人も同時に連れて来ることがあるが、突発的な患者と慢性の疾患で受診日をずらすなどの配慮が必要。 (眼科)
- 保護者、家族の方の受診に対する抵抗感の軽減。 (内・外科)

### 患者の情報に関する回答

- 総て必須でしょう。必ずセカンドオピニオン、総合的情報収集、出来れば母子手帳に写し、幼時検診時の気付き点がメモ出来れば発達過程も推測できるが。 (神経科)
- 保健師、福祉士などの客観的調査所見などの提供。 (小児科)
- その病状の始めより、今日までの経過。 (内・外科)
- できれば事前に電話してもらい、症状や服薬している薬、心配な事、相談したいことを伝えていただき、時間指定で診察がおこなえれば良いと思います。 (小児・内科)

### その他の回答

- 医療スタッフを充分雇えるような医療機関の収入面を改善して頂きたい。  
(内・外科)
- 日常的に診療しているのでいまさら何もない。  
(耳鼻科)
- 患者さんや家族に対する医療費等の十分な補助（今回の障害者自立支援法で財政負担を強いることについてはまちがっています）（内・消化器科）
- 内診等が無理なく行える状態の患者さんなら可。  
(無記入)
- 研修会はこちらから出向くので、情報というより、患者さんと接しながら学んでいく姿勢だと思います。  
(小児・内科)
- 日常的には不可能です。一般科を診察している施設では、現行の医療システム（含む診療報酬）上、対応できないでしょう。  
(泌尿器科)

〔Q4-1〕 具体的には、どのような情報が欲しいですか（自由記載）

この質問は、Q4の①（当該障害に関する医学知識や対応方法などの情報提供）を選択した方のみにお聞きしたものです。

### 【結果】

228件中171件の回答がありました。障害に関する知識、対処方法、治療法などの情報提供に関するものが、少なくとも78件ありました。次に、障害のある患者本人の情報に関するものが、少なくとも61件ありました。その次が研修や講師に関するもので、11件ありました。その他としては、受け入れ医療機関や県内の施設等に関するものがありました。

### 障害に関する知識や対処方法などに関する回答

- 対応方法（年齢や障害に応じた）についての情報です。  
(小児科)
- 障害に対する正確な情報と知識（基本から）を知りたいです。  
(内科)
- 県都市医師会を通して知的障害、アスペルガー症候群などの資料を配布してもらいたい。  
(小児科)
- 障害の程度における軽症～重症者の対応ならびにその知識（軽度発達障害を主に）  
(内・小児科)
- 患者家族への対応、治療の具体的内容、日常生活に対するアドバイス  
(小児・内科)
- 専門医、保護者からの対応の仕方へのアドバイス  
(小児・内科)
- 診療マニュアル、専門医へのアクセス方法。  
(内・外科)
- 具体的にはわからないが、専門家が考えて医療機関に必要と思われることの情報があると良いと思います。  
(内科)
- 専門的知識をわかりやすく説明した文献。  
(整形外科)
- 実際に応対する人が気をつけなければいけない点とか、実践的なこと。  
(整形外科)
- 高齢化してきている知的障害者への対応について。  
(小児科)
- 学習指導と手引書等。  
(小児科)

- 自閉症、知的障害などの患者さんに接する時の接し方のポイント（うつ病なら励ましてはいけないなど）（内・小児科）
- 知的障害者診療における禁忌行為、及び言動などの知識。個人情報をはじめは家族がすべて提供しないことがあるが、他に情報取得の方法があるのか。またそれは許されるのか。（外・胃腸科）
- 対応に関する統一マニュアル。（整形外科）
- 自閉症患児に対する診察時のテクニック。（内・外・小児科）
- 療法（精神、物理、薬物）に関しての情報。思考、行動パターンの情報。（小児・内科）
- 発達障害、自閉症、広汎性発達障害等についての知識が大変乏しいので全般的解説が欲しい。特に医療のニーズがあるのはどういう場合か。（内・婦人科）
- コメディカルも含めた具体的対応方法。問診等コミュニケーションを必要とする医療技術の応用、対応方法。地域での基幹病院と対応について。（内科）
- 家庭、学校で具体的にどんな行動に困り、どう対応すれば奏功するか具体的な例が必要。（精神・心療内科）

#### 患者本人の情報に関する回答

- 当該疾患名、病歴、薬物アレルギーの有無等。（内科）
- 当患者の現在までの治療その他の情報を持参して欲しい。（内科）
- 「こうするとこの人は安定しやすい」などの情報や、こんなことは刺激してしまうからダメなど、「こつ」のようなものや暴力的なケースははじめからそう教えてほしい。（眼科）
- 目の前にいる患者の示す症状や疾病についての情報（その都度）（内・アレルギー科）
- その障害の特徴、サマリー、コミュニケーションの取り方、その障害の患者さんにとってはいけない態度、かけてはいけない言葉など。（整形外科）
- 事前にある程度病状が判っていると診察し易いです。（内・小児科）
- 疾病のみだけの情報でなく、日常生活についてもお教えいただきたい。（無記入）
- その患者さんに対する障害の内容程度、対応の仕方等について。（小児科）
- 別紙説明の「受診サポート手帳」と専門医による注意点の記載。（内・外科）
- 患者個人の基礎疾患の具体的内容。（内・外科）
- 現在服用している薬や服用してはいけない薬。（耳鼻科）
- 基礎疾患でみてもらっている病院の処方箋や、治療情報書、注意事項等。（小児・内科）
- 診ていただいている専門医の診断を分かる範囲で知りたい。専門医との連携をとりたい場合のルートを知りたい。（小児・内科）
- 出生からの病歴が必要。（内・胃腸・小児科）
- 普段の状態と現在の状態がどのように異なるのか、どのように接したらリラックスしてもらえるのか。（内科）

- 事前に紹介状等のファックス連絡 (外・内科)

#### 研修や講師に関する回答

- 実地臨床行っている方に講師をお願いしたい。 (内・呼吸器科)
- こころの相談医の資格を持っているが、学習の場は遠方で、身近で情報提供を受ける場、機会が欲しい。 (小児科)
- 当該障害に対する研修。 (耳鼻・産婦・内科)
- 定期的なお知らせ。 (皮膚科)
- 卒後研修会などで講演を聞く。 (内・小児科)
- 研修会等。 (産婦・小児科)
- 専門医による講習、症例経験。 (小児科)
- 現場を担当している人たちの講演。 (内・消化器科)
- 現場での実際のやりとりなど、具体的な方法をいくつかのパターンで見せてもらいたい。 (小児科)

#### 受け入れ医療機関に関する回答

- 当該障害患者さんを適切な医療機関に紹介するためにより詳細な医療機関の情報。 (内・小児科)
- 対応方法と受け入れ先病院の情報。 (内科)
- どの機関でどのような症例を専門的に診ているか、また地域での活動や受け入れ体制など具体的情報が知りたい。 (小児科)
- 会話、説明(病状)の上ではいけないこと、注意点など。当院で対応出来ないときのアドバイスもしくは受け入れ先紹介(診察することができない状況でない場合) (眼科)

#### その他の回答

- 将来展望、入所施設、社会的援助機関など。 (無記入)
- 現在知的障害者などを援助している団体。 (内科)
- 群馬県における現状、患者数など施設の概要、専門医の所在、疾患についての対処方法のパンフレットなど。 (内科)
- 精神科関係の情報、統計。日本でどのくらいの数がいるのか。具体的にどのような対処をしているのか。 (内・小児科)
- 身障者施設での具体的な方法。 (内科)
- 当該障害患者さんを巡る社会資源に関して混乱しているので、それが整理できるような情報が欲しい。 (精神科)
- 一般的な医学的情報は充分と思われるが、知的障害者は個人毎に多彩な症状を示すことが多い。個人情報法との兼ね合いが難しいが、個人の既往歴、服薬歴、対応方法等を照会できるようなシステムが必要と思われる。 (内科)

〔Q4-2〕具体的には、どのような研修会を望みますか(自由記載)

この質問は、Q4の②(専門家等による研修会)を選択した方のみにお聞きしたものです。

## 【結果】

143 件中 99 件の回答がありました。そのうち、研修の内容に関するものが 43 件、医師会が開催するなどの研修の方法論や形式・講師に関するものが、32 件ありました。

### 研修内容に関する回答

- 知的障害、身体障害、発達障害等の各々についての研修会。  
(内・小児科)
- 何回も研修会に出席しているが、先ず診断の決定的なエビデンスについて。  
(小児・内科)
- 患者の見方及び治療の方法。  
(内科)
- 基礎から臨床まで体系的に。  
(内・循環器科)
- 自閉症、広汎性発達障害についての医学的知識及び対応のしかた。  
(内・小児科)
- とくに精神分裂病やうつなど精神科の領域の患者さんの扱いの「こつ」などあったら教えてほしい。(よく「ウソ」を言われることもあるので、見抜くこつとか)  
(眼科)
- 対応システムが比較的充実している地域の情報や、対処に役立つ研究・調査・情報。  
(小児・精神科)
- 事例報告が実践的で良いのでは。また医療技術としてマーゲンチューブの交換、バルーンカテ、ストーマ処置、感染対策、合併症(てんかん他)対策など症例によって非常に困難な例が障害者には普通にあるので、系統的な知識もさることながらチョットした技術上のコツなど教えていただくとありがたい。  
(小児・内科)
- 正確に服薬できるように指導する研修会。  
(内・外科)
- 症例経験の多い臨床の方。頭でっかちの方の話はいいです。聞きたくないです。千葉県での例など。  
(内・小児科)
- ビデオなどによる具体的な診察現場をみる。  
(内科)
- 自閉症、精薄等に関する症例報告、解説。  
(内・産婦人科)
- 当該障害の症状を持つ方の対処の仕方、例をあげ実際的に(症状の診断は難しい、何回かみているうちに自閉症かな?等考えられるが・・・成人だけでなく小児についても)  
(内・小児科)
- 診断と治療、サポート体制、およびそれら施設のくわしい情報、利用の仕方。  
(外・整形外科)
- 県内で患児に診断をつける力のある専門医の紹介、専門機関の紹介。何が足りていて何が足りないのか。専門医、専門機関が少ない中で、地域の開業医としてどこまでしていいのか悪いのか、具体的な話を聞きたい。  
(小児科)
- 生活指導する上での注意すべき点。特に、知的障害があるための医療事故の情報。  
(皮膚・小児科)

### 研修の方法論、講師などに関する回答

- 生涯学習の形式でもお願いします。  
(内科)
- 実地臨床行っている方に講師をお願いしたい。  
(内・呼吸器科)

- 専門家による講演。 (小児科)
- 講義形式。 (内科)
- 医師会で開く学術研究会。 (内科)
- 小児神経、精神科ドクターによる研修会。 (神経内科)
- 県医師会又は精神医療関連団体の主催の研修会。 (内・外科)
- 医師会単位で行う。 (内科)
- 所属医師会における研修会、年1～2回。 (内・小児科)
- 診療科目毎の研修会。 (眼科)
- 1～2日程度ではすまないと思いますので、集中的に5～6日位かけて。 (内・外科)
- 講演会プラス患者さん家族らの情報交換。学校関係者による対応などの講演 (小児・内科)
- 地区医師会に専門の講師を派遣し、複数講師によって数回の研修が必要。 (内・婦人科)
- 基幹病院を中心とした勉強会（病診連携等も視野に入れて） (内科)
- 各医師会、月例会に組み込む。 (胃腸科・内科)
- 専門家でも専門医の立場とその職場や学校等の状況を保護者や看護師や学校、園の先生より話を聞き参考にしたい。 (産婦・内科)
- 県医師会主催研修会の義務化。 (内・胃腸科)
- 一般的な学術講演会や行政職の講演。 (内・消化器科)
- 受け入れには、医師のみならず医療機関内の全てのスタッフの教育も不可欠かと思われしますので、看護職・事務職に落ち着いて対応できる力をつけさせるための研修があればよいと考えますが。 (小児・内科)
- 専門の医師だけでなく、入所・通所の施設で指導的役割を担っている人から生の声を聞きたい。 (内科)
- やりっぱなしの研修会ではなくてその後長期にわたって医療情報や患者の状態について情報交換ができるような形態が望ましいように思えます。 (内科)

#### その他の回答

- 必要あれば参加しますが、特に欲求はありません。 (内・小児科)
- 重度障害者とのコミュニケーションを含め情報の集め方。 (内・小児科)
- 先ずは浅く広くの対応について、パラメディカルの人達にも必要な事柄についてもお願いしたい。 (無記入)

〔Q4-3〕具体的には、事前にどのような情報が欲しいですか（自由記載）

この質問は、Q4の③（受診希望患者さんからの事前の情報提供）を選択した方のみにお聞きしたものです。

#### 【結果】

178件中151件の回答がありました。内容は複合的ですが、患者の状態、障害の程度、病歴、服薬などに関するものが圧倒的に多く、少なく



とも 109 件ありました。次に、事前の連絡・相談・予約をして欲しいというものが 20 件。受診の理由や困っていることが知りたいというものが、15 件ありました。その他として、家族の意向や日常生活に関するものなどがありました。

#### 患者の状態、障害の程度、病歴などに関する回答

- 患者の状態（当院で受け入れ可能かどうかの判断材料）（産婦人科）
- 行動の障害の程度、成育歴、療育歴。（精神・神経科）
- 障害の内容、程度、待ってられるか、家族若しくは保護者の付き添いの有無。（皮膚科）
- 普段の状態、いつ頃からどうであったかの病歴、救急の初診が一番困るの  
で。禁忌薬。（外・胃腸科）
- 他医（前医）があれば、診療情報提供書や薬剤情報。（内・小児科）
- 暴力性があるかないか、待ち時間多くても OK か（待てない人は先に回さ  
ないといけないでしょうし）、使用している薬について。（眼科）
- 病状のくわしい経過、現在の症状、又診察時、医師の質問に答えられる人  
（保護者等）が居てほしい。（内・アレルギー科）
- 障害の内容、程度、パニックがありうるか他問題点。既往歴、服用中の薬  
剤、合併障害（精神障害も含む）年齢、性別。付添人の有無、家族の理解  
度他。（小児・内科）
- 現在困っている症状などのサマリー、コミュニケーションの取り方。  
（整形外科）
- 以前検査した IQ 等、心理テスト、以前施設等でまとめた病歴、成育歴な  
どのコピー。（精神・内科）
- 障害の程度や、何に恐怖を感じるのか、何が好きであるかなど。  
（耳鼻科）
- 婦人科的な診察が可能かどうか、病院のスタッフとコミュニケーションが  
どの程度とれるか等。（産婦人科）
- どのようなこだわりがあり、どういう時パニックになるのか、今までどの  
ような対応をしたら落ち着いていられたか。（内・外科）
- 病状の経過、内服薬、移動の方法、おむつ交換の回数、発熱の有無、自宅  
での採尿についてなど。（泌尿・皮膚科）
- 文書による訴え等。（整形外科）
- 現障害の元になっている疾患名、治療の状況、投薬、家族歴など当然通常  
の診療に必要な情報がもたらされないことが多い（何か記載したものなど  
を持たせたらどうか）（眼科）
- 日常の生活についての情報。（内科）

#### 事前の連絡・相談・予約などの回答

- できれば保護者に事前に連絡をしてもらいどの程度の障害なのか、対応可  
能なのかを事前に相談してもらおうことが良い様に思います。（内・外科）
- まずは予約外来で長めの時間をとらざるを得ないので電話を頂きたい。  
（小児・精神科）
- 当該患者の突然の来訪は困る、当該障害者の行っている例えば保育園、保  
健センターより事前の情報が得られると良い。（小児科）

- 事前に FAX でも情報をもらいたい。 (無記入)
- 施設にいる知的障害者の受診が主であるから事前情報を受けていればよい。 (小児科)
- 診察及び加療により、時間を有しそうな場合、他患者さんへの影響があるような行為のある場合等予約時間指定させて頂ければいいと思います。 (皮膚科)
- 待合室で待つことが困難な場合には受診時間等について事前に相談がいただけるとありがたいです。 (内・消化器科)
- 他医 (専門医) 又は、担当の福祉の専門家に文書で紹介してもらいたい。 (内・麻酔・外科)
- 小児科を受診される親子のような (熱がある、この所具合が悪い等) 簡単な情報と希望する事柄 (日時など) (内・小児科)
- 外傷の具体的内容の電話連絡。 (内・外科)
- 相談の内容 (このような患者さんは時間がかかるので、どの程度一人に時間をとっておいた方がよいかどうかを知りたい) (小児科)
- 受診予約がないと当日大分待つことになる。初診の場合できれば紹介状等。再診の場合は特に必要ない。 (精神科)
- 日常の感情・動作の様子。他の患者との接触を少なくするため、受診時間の予約 (待ち時間短縮、トラブルの予防) (内科)

#### 受診の理由、困っていることなどの回答

- 簡単なヒストリー、保護者が困っていること。 (精神・神経科)
- 受診理由が継続的なものか、急性発症 (上気道炎など) のみを対象としたものか。 (内科)
- 現在までの治療歴、当院に何を望んで来院するのか、発熱? 下痢? その他。 (内科)
- 当院を受診する理由。 (内・整形外科)
- 時間的な余裕があるときに受診して頂けたらと考えます。来院する時間、受診の目的、事情をわかる人が一緒に来院されるか否か。 (内・消化器科)

#### その他の回答

- 家族 (父と母でも観察報告が異なる) 社会生活 (幼稚園、学校) 心理、行動評価テストなど。 (神経科)
- その場では障害の内容を詳しく問診することは難しいです。保護者は本人の前でははっきり言わないようですから。 (内科)
- 日常生活全般について。 (小児・内科)
- 今までの経験では障害者は家族毎に既知であることが多い。 (内・外科)
- 乳児検診データ、保護者の考え方について。 (小児科)
- 治療を受けられるために、悪い所を診せてくれるか? すこしでもよいかから医師の意見を入れてもらえないか? (耳鼻科)
- 当該者もかかりつけ医を持つこと、健康な時も健康診断を主治医のもとで年一回行うこと。 (内・胃腸科)

〔Q5〕 2年前に「知的障害者の医療を考える会」が県の手をつなぐ育成会

(知的障害者の保護者の団体)を対象にアンケート調査を行ったとき、保護者からの医療機関に対する要望としては、待てない・行動異常のある患者に対する配慮というものが一番でした。具体的には、待ち時間や待つ場所について配慮して欲しいというものでした。貴院ではこのような要望に対して、何らかの配慮・対応が可能でしょうか

【結果】 (別添棒グラフ参照)

一番多かったのは、③ (どちらともいえない) で、149件 (38.2%)。次が、② (いいえ) で、118件 (30.3%)。① (はい) は、114件 (29.2%) でした。

〔Q5-1〕 どのような配慮・対応が可能でしょうか (自由記載)

この質問は、Q5で① (はい) を選択した方のみにお聞きしたものです。

【結果】

114件中111件の回答がありました。内容は様々に重複していますが、診療予約という対応が少なくとも45件、同じく順番や待ち時間の配慮という対応も、少なくとも45件ありました。また、待つ場所については、車内も含めると少なくとも31件ありました。

診療の予約などの回答

- 専用電話による予約制ですので、待ち時間は短くなっています。(一般診療のみ行っている診療所で、障害その他についての診療は行っておりません)。第2診察室もあるので、希望の方にはそちらで待つ場合によっては可能です。(小児科)
- 受診予約。できれば保護者が事前に受診していただけるとうまくいくと思います。(内科)
- 事前に家族との連絡、話し合いの上、診察の時間を決める。(内科)
- 電話予約(相談)の上時間限定。入り口を一般外来とは別にし、待合室も別。(小児・精神科)
- 非常に限られています。午前中の診療時間の一番最後に予約するとか、夕方(午後)の診療の一番最初の番をとってもらおうとか・・・その程度です。(精神・内科)
- 臨機応変に予約もしくはあらかじめ時間を決めるなどして対応。(内・胃腸科)
- 常時毎日対応可能というわけにはいきませんが、時間帯の相談、別室でまわっていただくことは可能です。ただ現実には体制が充分というわけではありません。(内・消化器科)
- 電話で予約を行い、できるだけ待たせないように努力している。保護者の方の希望により、自分の車で少しの間待っていただき、番になったらむかえに行く。待合室やなか待ち以外の所でお待ちいただくなど。(耳鼻科)
- あらかじめ受診の連絡と時間の予約をとっていただくとベターと考えます。(内・循環器科)

- 事前に fax などの連絡、病状の経過を記載した用紙などを。(内・胃腸科)
- 別室の用意ができます。電話で予約も可能です。ご希望によっては、午後 2～3 時の診療時間以外での受診も可能です。(小児科)
- 事前の予約、車内での待機、携帯への呼び出し。(小児科)

#### 順番や待ち時間に関する回答

- 可能の範囲で診察の順番を配慮します。今まであまり問題はない。(外・内科)
- 待つ場所については無理ですが、待ち時間の短縮は可能です(他の患者さんより先に診る)(皮膚科)
- 状況によって先に診察せざるを得ないことがある、他の患者さんの了解を得て。(精神・神経科)
- 他の患者さんに気づかれないように先に診察します。(内・外科)
- 一般患者との接触時間を最小限にするために優先的に診療するようにする。(眼科)
- 待合室が不安になるのでことわって先に診察している。(内・外科)
- 来院された時はできるだけ早く診させていただくようにしている。(脳外科)
- 待てる場合は車で待っていてもらい、順番が来たら呼びに行く。前もって予約していただき、他の患者さんのいない時に診察する。(小児科)
- 優先的に診る。患家 - 医師会担当の明確表示 - 担当医へ紹介。(整形外科)
- 電話連絡あれば、手術の用意して来院後直ちに対応しています。(内・外科)
- 既に外来での混み具合、患者さんの状態によって優先的に診察しています。(耳鼻科)
- 来院したら他の患者を待たせておいて直ちに対応する。(内・胃腸科)
- 大変な状況を呈する方であれば、待ち時間なく診察しても、周囲の人々の理解は得られると思う。(耳鼻科)
- 状態に応じて診察の順番を早くしますので、受付で申し出て下さい。(循環・内科)

#### 待つ場所に関する回答

- 車で待機してもらおう。(内科)
- 予診室が用意してあること、待ち時間は十分短縮して行っている。(消化・外科)
- 待合室でお待ちいただくのではなく、別の部屋でお待ちいただき早めに診察をする。(産婦・内科)
- 待てる場合は車で待っていてもらい、順番が来たら呼びに行く。前もって予約していただき、他の患者さんのいない時に診察する。(小児科)
- 診察室を別にしている。診察時間がかかることを心得ておく。職員もそれなり心得ている。(内・小児科)
- 車の中で待ってもらい、時間が来たら診察室へ。診察が終了したら、また車の中で待機してもらい、職員が薬や、会計を車のそばで行う。(小児・内科)